

# アポイのヒメチャ保護と十勝の蝶

2021年5月30日～6月1日

日本蝶類保全協会が行なっているヒメチャマダラセセリの絶滅回避の取り組みの手伝いをメインに、その前後、兄弟種チャマダラセセリの産地十勝の蝶の観察に行ってきました。

# 1日目：富良野～十勝～様似

富良野から様似までは約250kmある。(東京から250kmといえば上高地あたりまでいける。)時間にすると約4時間で到着する。その行程の中間に十勝地方を通ることになり、ここまで約2時間で、いつも休憩がてら十勝の忠類あたりの蝶を観察している。ヒメチャの兄弟種チャマ君の発生地も点在している。

富良野を出る時には小雨模様で寒かったが、いつものように狩勝峠を下りると少し青空も見えてくる。少し期待できるかなと、今回は昨年チャマがけっこういたN林道を目指す。到着すると天気はますます、車を止めると道端のタンポポにきれいなミヤマカラスアゲハが吸蜜に来た。



ミヤマカラスアゲハ♂

カラスアゲハ♂



N林道のチャマ・カラフトヒ発生地

チャマとカラフトヒが発生している伐採跡地に向かうと林道に現れたのはカラスアゲハ。美しさでミヤマカラスの方が圧倒的に人気があるのだが、よく見るとカラスも春型はなかなかきれいなのだ。さて伐採跡地をのぞくとずいぶん草丈が伸びている。植え込んだトドマツも伸びてきているがタラノキのほうが元気そう。前回にチャマを見ているが、カラフトヒの幼虫はいなかった。環境が変わってしまったようだ。ここをあきらめ、川を渡って反対側の山林に向かってみる。クリンソウの咲く山道を抜けると、明るい伐採跡地が現れた。



## 新しく見つけたカラマツ伐採地



ミツバツチグリも豊富だ。これはいいところかもしれない。帰りにまた寄ってみよう。だんだん天気が悪くなる。後輩のK君が欲しいと言っていたオオミドリシジミの幼虫の巣が結構あるのでつまんでいく。

まだ時間があるので〇〇展望台に上がってみる。小雨が落ちてきた。車を止めて昼飯にする。目の前のミズナラに食痕がある。枝を下ろしてみるとウラミスジシジミとアカシジミの終齢。この展望台の横道に入るとまた伐採跡地。ツルフジバカマも生えている。ここも何かいそうな雰囲気。オニシモツケにコヒョウモンの幼虫。

観察はここまで、夕食のてんぷら用にウドとタランボの芽を摘んで様子に向かう。

カシワについたオオミドリ3齢



ウラミスジシジミ終齢



展望台下の伐採地



# 2日目：アポイ岳

昨晩は山菜てんぷらをつまみながら中村さんとヒメチャの卵採り～ネット掛けの状況を検討。採卵は順調だが、野外に戻した卵が乾燥で葉から脱落するなどあまり効果的ではないことがわかり、孵化させてから幼虫を段階的に現地に戻すことにする。

それで今日は予報では天気がよさそうなので中村さんは宿舎で卵採りと孵化幼虫の整理、私は山に登り残っているネットやヒメチャの発生状況を見ることにする。



アポイ岳支援センター「ヒメチャラボ」



孵化幼虫(→)の整理



7時前に出発。桜も散りやまは新緑に彩られている。いつものようにゼイゼイしながらまずは5合目の再生試験地のネットを見つめる。2つセットしたうちの一つに孵化幼虫がいた。

7合目下からヒメチャの生息環境になってくる。少し卵を探してみると、なんと孵化したての1齢幼虫が葉の上を歩いているのを見つける。(ゴッドハンド!?)しばらく見ていると葉の基部に居場所を据え吐糸を始める。動画に撮る。また帰りに見てみようと思てピンテをつける。

次に2019伐採地～2013年伐採地へ移動し、教育大旭川のトレイルカメラの様子を見て、少し卵さがし。10卵ほど見つけてタグをつける。ダニに食われた空卵も一つあった。

巣造りの場所を探す1齢



ネットの中にいた1齢の巣



山小屋前のヤマツツジ



2019伐採地の卵



ダニに食われ空卵に

## やっと飛び出した成虫(馬の背核心部登山路)



次に馬の背核心部に設置した卵ネットの様子を  
試みる。やはり中村さんのいうとおり、脱落している  
のが多い。それらは回収する。天気はなかなか良く  
ならず、昼飯にする。午後1時頃になってやっと晴れ  
間が出てくる。が、すぐ薄曇り、馬の背の上に雲が張  
り付いてなかなか消えない。それでも晴れ間を  
縫って4羽を確認。3時頃にはまた雲がかかってくる。  
7合目下の1齢の様子を見て帰ることにする。



左の個体



枝から卵が脱落



いつも見る様似の遠望

## 巣作りを始めた1齢幼虫



ゴッドハンドが見つけた1齢幼虫はご覧のとおり、もうかなり糸かけを進めていた。この様子もTG5で動画撮影する。このあとはトレイルカメラに追いかけてもらおうと大学のカメラをここに移動し巣に向けてセットする。

山での活動はここまで。支援センターに戻ると、中村さんが出迎え「今日は120卵くらい産みました」とのこと。ヒメチャの♀は長い期間かけて産み続けることがわかってきた。大学での飼育用に卵を仕分け整理して今日の作業は終了。



トレイルカメラを設置



# 3日目：アポイ～忠類

持ち帰り用の卵をクーラーボックスに詰めて、富良野に帰るのですが、今日は抜群のいい天気、途中また十勝に寄ってみることに。最初に忠類のA先生ポイントに行ってみる。車中からヒメウスバが飛んでいるのが見える。これはいいぞ、と車を止め歩き出すと次々道東や北海道を特徴づける蝶たちが出迎えてくれた。カラフトタカネキマダラセセリ、シロオビヒメヒカゲ、アカマダラ、チャマダラセセリ……楽しい撮影ができました。ではそのギャラリーへ



道路わきを飛ぶヒメウスバシロチョウ♂

# カラフトタカネキマダラセセリ



吸蜜はタンポポが好き



チゴユリで吸蜜(♂)



葉先でテリトリーを張る♂



ミツバツチグリで吸蜜(♀)



チシマフウロで吸蜜(♂)

# ヒメウスバ

チシマフウロで吸蜜(♂)



ハルザキヤマガラシで吸蜜(♂)



# チャマダラセセリ

吸水する♂

チャマダラセセリの生息環境



日光浴する♀



ミツバツチグリのストロンについた葉にタッチし……産卵する

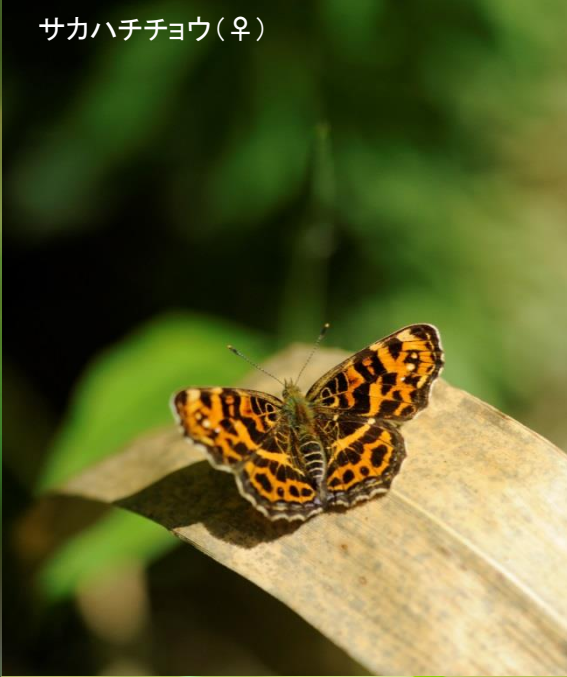
その他いろいろ



シロオビヒメヒカゲ♂



アカマダラ(♂)



サカハチチョウ(♀)



コムスジ(♂)



ミドリヒョウモン4齢幼虫

# おわり



T,Nagamori